

# 部 局 経 営 方 針

部局名	水道局	部局長名	岩下満志
-----	-----	------	------

部局内の 経営資源	当初予算	55.6億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		42人	9人	51人

①部局の使命 (組織の存在価値)	<p>●水道局の使命は 「市民が安全・安心で、安定した生活を継続・維持できるよう、生活環境の整備改善を進めること、併せて、企業の経済性を発揮しながら、計画的かつ効率的な事業運営を行い市民福祉向上に資すること」である。</p>	②組織目標像	<p>【施策の目標像】 (1) 持続可能な健全経営を目標とする。</p> <p>【組織の目標像】 (1) 限られた職員で、より効率的な事務執行のできる組織を目指す。</p>
---------------------	--	--------	--

## 平成24年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

③重点事項	④具体的な成果目標 (めざそう値)	⑤具体的な取組内容	⑥進捗状況 (年度中間)	⑧年度末の達成状況
管理運営の合理化 【水道管理課】	(1) 平成28年度本土地域の事業統合に向けた経営の合理化、業務の効率化の調査・研究	① 先進事例をもとに、多様な運営形態の事例研究と課題等の把握に努め、合理化・民間委託できる業務等の把握を行う。	○ ① 合理化・民間委託できる業務等について、洗い出しを行った。今後は、業務の費用対効果についても調査研究を行う。	○ ① 経営合理化にむけて調査研究中
水道事業の統合 【上水道課】	(1) 平成28年度までに、全水道事業を、1 上水道、2 簡易水道事業に統合する。	① 厚生労働省への水道事業変更認可申請 (木場茶屋簡易水道編入) ② 木場茶屋簡易水道統合のための連絡管布設・水源地改修工事 ③ 事業統合に向けた簡易水道資産台帳整備事業	○ ① 木場茶屋簡易水道の上水道統合議案9月議会で議決 ○ ② 連絡管布設工事発注済 ○ ③ 4 簡易水道の業務を発注済	○ ① 木場茶屋簡易水道を平成25年度から上水道事業に統合 ○ ② 連絡管布設工事は完成済 ○ ③ 4 簡易水道の台帳整備済
水道料金収納率向上 【水道管理課】	(1) 過年度滞納分収納率の対前年度比プラス	① 特別徴収 (夜間・臨戸) 及び停水措置の計画的な実施 ② 誓約書の作成等滞納管理の強化 ③ コンビニ収納の普及・啓発に努め	○ ① 計画に基づき停水予告通知を発送した。 ○ ② 分納者台帳を作成し戸別徴収等を行った。	○ ① H25.2 までに停水4 回実施、件数 34 件。 ○ ② 戸別訪問件数

# 部 局 経 営 方 針

		る。23年度実績（上水道：18,088件、簡易水道：3,568件）	○	③ 8月末実績（上水道：8,649件、簡易水道：1,761件）	○	2,151件 ③ 2月末実績（上水道：19,859件、簡易水道：4,150件）
水道施設の計画的な更新 【上水道課】	(1) 施設の整備及び更新  (2) 老朽管の更新	① 石堂地区整備事業 ・配水池築造工事外 ② 西方地区簡易水道施設整備事業 ・ポンプ設備・導水管布設外 ③ 牟田水源地外遠方監視設備整備事業（祁答院） ④ 上水道 L=3,500m ⑤ 下甌地区の基幹改良配水管 L=1,834m	○ ○ ○ ○ ○	① 配水池築造工事は発注済 他の工事は11月発注予定 ② 8月事業認可、実施設計発注済、11月工事発注予定 ③ 11月工事発注予定 ④ 概ね計画どおり実施 ⑤ 実施設計済 10月工事発注予定	△ ○ ○ ○ ○	① 発注までに時間を要したため年度内に完成ができなく次年度へ繰り越した。 ② 工事完成済 ③ 工事完成済 ④ 上水道 L=3,890m実施済 ⑤ 下甌地区 工事を発注 L=2,088m
給水サービスの向上 【上水道課】	(1) 3階直結給水の検討	① 直結給水に備えた施行基準の作成	○	① 他市の状況を調査中	△	① 他市の状況の聞き取りはできたが、先進地での研修ができなかった。
公衆浴場の整備 【上水道課】	(1) 2つの市営公衆浴場を移転合築	① 温泉施設の基本設計・実施設計 ② アゼロ湯公衆浴場解体撤去工事	○ ○	① 関係課と協議調整中 ② 関係課と協議調整中でアゼロ湯廃止のための、公衆浴場条例の一部改正を12月議会へ提案予定	○ ○	① 業務委託発注済 ② アゼロ湯を平成25年2月1日で廃止し撤去工事発注済
工業用水の安定供給 【上水道課】	(1) 安定供給のための施設の整備	① 遠方監視設備整備事業	□	① FIM事業廃止のために計画の再検討が必要	×	① FIM事業廃止予定のために工事中止

# 部 局 経 営 方 針

<p>生活排水対策の推進及び下水道事業の経営改善 【下水道課】</p>	<p>(1) 下水道事業への接続率向上に向けた方策の検討 (2) 公共下水道（川内処理区）の接続率向上 200戸の新規接続を目標とする。（平成24年度末目標値：60%） 平成24年3月末の接続率 58.0% (3) 農業集落排水事業入来地域（入来中部処理区・大馬越処理区）の接続率向上 5戸の新規接続を目標とする。 平成24年3月末の接続率 60.7% (4) 漁業集落排水事業手打地区の接続率向上 （平成24年度末目標値：50%以上） (5) 公共下水道、農業・漁業集落排水及び地域下水処理対象地区外での小型合併処理浄化槽の普及促進</p>	<p>① 接続推進のための補助制度等の調査検討の実施 ② 向田・宮里地区では、未接続家屋所有者への接続依頼文等の配布 ③ 平佐地区では、説明会の開催並びに未接続家屋所有者への戸別訪問の実施 ④ 入来中部処理区・大馬越処理区の未接続家屋所有者への戸別訪問並びに接続依頼文等の配布 ⑤ 説明会の開催並びに戸別訪問の実施 ⑥ 普及促進が図られるよう補助制度の検討 ⑦ 小型合併処理浄化槽設置整備費補助金制度の周知を図る。</p>	<p>□ ○ △ △ □</p>	<p>① 接続補助金の検討中である。 ② 平佐地区での説明会の実施、戸別訪問の実施 ③ 下半期実施予定 ④ 工事説明会にあわせて実施予定。 ⑤ 予算化も含め検討中</p>	<p>○ □ ○ ○ × × ○ ○</p> <p>① 接続補助金を平成25年度より実施する。（合併浄化槽からの切り替え、合併浄化槽設置に係る補助金無の方を対象とする。） ② 向田の東開聞・西開聞で戸別訪問を実施 ③ 供用開始後3年を経過する対象者に戸別訪問を実施 ④ 未実施 ⑤ 未実施 ⑥ 小型合併処理浄化槽を設置していてその際に補助を受けずに設置した住民へ3年間の期間限定で下水道に接続する際に補助金を交付する。 ⑦ 広報で周知を図った。</p>
<p>下水道区域の見直し 【下水道課】</p>	<p>(1) 公共下水道（川内処理区）区域の見直し</p>	<p>① 平成24年度中に全体計画の区域見直しの実施</p>	<p>○</p>	<p>① 関係機関協議。 上下水道事業運営審議会の開催。 住民説明会開催予定。</p>	<p>○</p> <p>① 縮小する方向で見直しを行い、上下水道事業運営審議会、住民説明会等で説明を行っ</p>

# 部 局 経 営 方 針

				<p>た。また、議会への報告も行った。市の方針を決定</p>
<p>予算の計画的執行 【上水道課】 【下水道課】</p>	<p>(1) 建設事業の年度内執行・年度内完成</p>	<p>① 計画的、効率的事業執行 ② 早期発注に努める。 ③ 無理・無駄を省いた効率的な事務執行により、建設予算の繰越を最小限に抑える。</p>	<p>〔上水道課〕 ○ ①～③ 概ね計画どおり実施 〔下水道課〕 △ ①～③ 計画的に事業の発注を進めている。</p>	<p>〔上水道課〕 △ ①～③ 一部の工事 で発注までに時間を要したため年度内完成ができなくなり次年度に繰り越した。 〔下水道課〕 △ ①～③ 計画的に事業の発注に努めた が、一部契約繰越が生じた。</p>
<p>⑦年度中間総括</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度の水道事業統合に関して、民間委託で対応可能な業務の洗い出しを行った。</li> <li>過年度水道料金収納率の対前年度比増に向け、年間計画を立て、毎月、停水を伴う滞納整理を実施している。平成24年9月末の上水道事業過年度未収金収入は、26,569千円（収納率37.2%）で、対前年度比収入額△5,797千円、収納率が△1.7%となった。</li> <li>上水道整備事業に係る委託・工事関係業務は、計画通り進めることができた。工業用水については、企業側の経営方針の変更等により計画の再検討を行う必要がある。</li> <li>下水道事業においては、公共下水道区域の見直しと公共下水道区域の供用開始区域への説明を行った。また、下水道料金滞納者のリストを整理する作業も行った。公共下水道（川内処理区）9月末の計画戸数4,131戸、24年度接続個数121戸、接続率57.8%。漁業集落排水事業手打地区の9月末計画戸数344戸、接続戸数146戸、接続率42.4%。</li> </ul>			
<p>⑨年度末総括</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道料金滞納整理については、滞納整理専従嘱託員と職員での計画的な徴収事務を行っている。しかしながら、年々滞納者が限定され、収納率に繋がらない状況期に入りつつある現状である。平成25年2月末上水道事業過年度未収金の水道料金収入は、32,129,599円（収納率44.94%）となっている。</li> <li>上水道整備事業に係る委託や更新工事は、計画通り進めることができた。しかし、一部の整備工事で管路の新たな検討のため時間を要し発注が遅れた。また、発注後に関連工事や工事箇所での調整のため年度内に完成ができなかった。</li> <li>工業用水では、供給先企業側の事業廃止予定に伴い遠方監視設備整備事業を中止した。今後の維持管理について検討を行う必要がある。</li> <li>下水道工事の円滑な施工及び工事終了後の接続推進を図った地元説明会の開催、戸別訪問の実施、接続依頼文書等の配布等接続推進に</li> </ul>			

平成24年度

# 部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

関する取り組みを積極的に行い、薩摩川内市下水道事業全体で318戸の新規接続者を確保することができた。  
また、使用料金の未納者対策に戸別訪問の実施を行った。